



[表紙の写真]
ようこそ みぶぎかいカフェへ

みぶぎ ぎがしー

No. **207**
2024

R5 12月定例会

目次

- みぶぎかいカフェ 2
- 定例会概要 6
- 一般質問 9
- 委員会活動 14
- トピックス 16

「子育て」をもっとしやすくなると思いますか？

11月18日

議会と住民との懇談会 みぶぎかいカフェを開催



本町議会では町民の皆様には議会の活動状況を知っていただくとともに、議会活動や町政に対する意見を聞かせていただくために懇談会を開催してきました。

5回目となる今回は、議会と住民との懇談会運営委員会（戸崎泰秀委員長）が中心となり、昨年開庁した壬生町役場新庁舎で開催しました。第1部は議会概要と令和4年度決算の説明を、第2部では「結婚・出産・子育て」をテーマに意見交換を行いました。



壬生町がどのようになれば「結婚・出産」



町民の参加者は12名、第2部では2つのグループに分かれ、お茶やコーヒーを飲みながら、リラックスした雰囲気ですべて「結婚・出産・子育て」について意見交換を行いました。

町民の皆様から積極的に意見が出されました。

意見交換会でのご意見・ご要望

- 子どもが病気になった時に、預けられるところが欲しい
(仕事を休めない時に、電話等で連絡して駆けつけてサポートしてくれる人などがいれば)
- 介護施設・老人ホームなどと連携して子どもを一時預けられるように
(保育士などの職員を配置し、高齢者も協力して子どもをみる。高齢者の生きがいにも繋がる)
- 妊婦の方はお腹が大きくなり車を運転できなくなるので、タクシー助成券を配布する
- 壬生町に結婚適齢期の人達を集めるための、はっきりした政策を打ち出してほしい
(議会だよりを読んだが、町長の話が抽象的で町のPRにならない)
- 発達しょうがい児に関する相談窓口を充実させてほしい
- もう既に子どもを一人産んでいる人に、二人目、三人目を産んでもらえるような施策を
(二人目からの保育料無料や、明石市に倣ってオムツの定期便など)
- 食事を基本として、健康な体に育てる
(給食を活用して壬生の農産物を食べさせる。学力よりも生きる力を育てるべき)
- 子ども達が自分だけで(公共交通機関を使って)学校に行けるよう、路線バスの整備を
- 行政に頼るばかりでなく、地域で子ども達の面倒をみるように
(子育てが終わって仕事もリタイアした人がこれまでの経験を活かせる)
- 出会いのきっかけとなるイベントが少ないので、町が主体となって男女を募集してバス
旅行など企画する
(県の結婚コンシェルジュのような方にバスに同乗してもらい、コーディネートしてもらう)



議会と住民との懇談会 (みぶぎかいカフェ) 終了後のアンケートより

本日のテーマ「結婚・出産・子育て」についてのご意見・ご要望

- まずは人口増をしていくことが大切と思う
- 町外に出た子供達が戻ってくるように力を入れていくことが大事
- タイムリーな話題で良かった
- お見合いだけでなく、本人のレベルアップ魅力アップの講座があると良い
- 大切なので、これからもどんどん話し合っしてほしいです
- 広く難しいテーマであるため、もう少し具体案となるようにテーマをしぼってもよいのでは
- 各自素晴らしい意見が発表されまして、本当に実現できますように望みます
- よかったとは思いますが、現役の子育て世代の人がもっと欲しくてですね
- 話の内容が理解できないことが多く反省しています
- 助ける力、頼る勇気が全ての世代に必要かと思う。そしてお互いの歩み寄り。

町長に結果報告書を提出

議会と住民との懇談会 (みぶぎかいカフェ) でいただいた皆様からのご意見・ご要望をとりまとめ、12月12日に小菅町長に提出しました。



12月 定例会

令和5年第5回定例会は、11月30日に招集され12月12日までの13日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例の制定1件、条例の改正7件、組合規約の変更1件、人事案件1件、補正予算7件が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

条例

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例・壬生町長等の給与及び旅費に関する条例を一部改正

本年8月に行われた人事院勧告及び10月の栃木県人事委員会の勧告に準じて改正を行うものです。

主な内容は、

令和5年12月支給分の期末手当を0・1月引き上げ、令和6年度からは、6月及び12月でそれぞれ0・05月ずつ引き上げるもの。

本会議で審議の結果、賛成多数により可決しました。

壬生町職員の給与に関する条例等を一部改正

本年8月に行われた人事院勧告及び10月の栃木県人事委員会の勧告に準じて改正を行うものです。

主な内容は、

①月例給を令和5年4月に遡って引き上げ、特別給は本年12月支給分を0・1月引き上げ、期末手当及び勤勉手当に0・05月ずつ配分し、令和6年度からは、6月及び12月でそれぞれ0・05月ずつ引き上げ、期末手当及び勤勉手当に0・025月ずつ配分するもの。

②働き方改革の一環として、1ヶ月に10日以上、正規の勤務時間の全部を在宅での勤務を命ぜられた職員に対する「在宅勤務等手当」を新設するもの。

本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

壬生町国民健康保険税条例を一部改正

「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が令和5年5月19日に、関係政令が令和5年7月20日に公布され、国民健康保険税の改正部分については令和6年1月1日

から施行されることに伴い、産前産後保険税免除措置の導入を行うものです。

主な内容は、

所得制限を設けずに出産する被保険者を対象に、産前産後期間相当分、単胎妊娠の場合は4ヶ月分、多胎妊娠の場合は6ヶ月分の均等割と所得割を免除し、その免除相当額を公費で支援する制度を創設するもの。

本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

人事案件

教育委員会委員の任命に同意

令和6年1月21日をもって任期満了となる、おおくぼのふお大久保信男氏の後任としてもとしまひろひさ本島博久氏（落合）を任命することに同意しました。



議会だよりは、二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからもご覧いただけます。



令和5年度 補正予算 (令和5年12月定例会可決)

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計 (第5号)		△1億5,251万円	165億5,914万2千円	<p>各事務事業の精査による過不足額を計上したほか、職員給与費の改定等に伴うもの、物価高騰対策に関する経費、国県補助事業の確定に伴うもの、施設の適正な管理運営のために緊急を要する修繕、電気料の過不足など施設の維持管理費等を盛り込み、予算編成をしたもの。</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 175万1千円 保育対策総合支援事業費補助金 133万3千円 農地利用最適化交付金 356万2千円 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別職・一般職給与費 501万8千円 ふるさと応援寄附金推進事業 1,440万3千円 物価高騰対策食事療養費支援事業 562万8千円
一般会計 (第6号)		3億781万1千円	168億6,695万3千円	<p>物価高騰で困難な状況にある生活者・事業者を地域の実情に応じてきめ細かく支援できるようにするために創設された、国の重点支援地方交付金を財源とした事業に要する経費を計上したものの。</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2億9,995万9千円 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価高騰対策応援券配布事業 7,209万1千円 物価高騰対策低所得世帯追加支援事業 2億2,859万4千円 物価高騰対策介護サービス食費支援事業 273万6千円
特別会計	国民健康保険 (第2号)	165万8千円	41億5,526万1千円	<p>職員給与費の改定等に伴う増額のほか、令和4年度の事業実績確定による精算額を計上したものの。</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰入金 165万8千円 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員給与費 154万4千円 償還金 8万3千円
	介護保険事業 (第2号)	3,264万円	37億4,621万1千円	<p>職員給与費、システム改修費、介護認定調査員報酬及び認定調査に係る費用、介護給付金、償還金等について見直しを行い編成したものの。</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現年度分介護給付費負担金(国・県) 901万7千円 現年度分介護給付費交付金 771万8千円 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定調査等費 89万円 居宅介護サービス給付費負担金 2,239万円
	後期高齢者医療 (第2号)	42万6千円	5億7,204万8千円	<p>職員給与費及び総合事務組合負担金、所得情報の判明による還付金の増額により、保険料還付金を増額計上したものの。</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰入金 25万8千円 保険料還付金 16万8千円 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合事務組合負担金 3万7千円 保険料還付金 16万8千円
水道事業会計 (第1号)	収益的支出	△2,763万7千円	5億8,816万9千円	<p>職員の人事異動及び壬生町給与と条例の改定に伴う職員給与費等の過不足額、並びに電気料の契約を見直したことによる配水場の動力費の減額見込額等を計上したものの。</p>
下水道事業会計 (第2号)	収益的支出	△2,773万8千円	14億9,272万7千円	<p>職員の人事異動及び壬生町給与と条例の改定に伴う職員給与費等の過不足額並びに電気料の契約を見直したことによる水処理センター及び集落排水処理場の動力費の減額見込額を計上したものの。</p>
	資本的支出	41万3千円	17億1,740万9千円	

令和5年12月壬生町議会定例会議決結果と賛否状況

※坂田昇一議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	大山	小川	中川	榎井	後藤	田部	戸崎	遠藤	赤羽	小牧	玉田	田村	鈴木	大島	落合
			博	律男	和典	将太	節子	明男	泰秀	恭子	根信行	敦子	秀夫	正敏	理夫	菊夫	誠記
条例の制定及び一部改正																	
議案第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び県人事委員会の勧告に準じて令和5年12月支給分の期末手当を0.1月引き上げ、令和6年度からは、6月及び12月でそれぞれ0.05月ずつ引き上げるよう一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について (議案第1号と同様)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町職員の給与に関する条例等の一部改正について (人事院勧告及び県人事委員会の勧告に準じて月例給を令和5年4月に遡って引き上げ、特別給は本年12月支給分を0.1月引き上げ、令和6年度からは、6月及び12月でそれぞれ0.05月ずつ引き上げるよう一部改正を行うもの。また、働き方改革の一環として、1ヶ月に10日を超えて、正規の勤務時間の全部を勤務することを命ぜられた職員に対する「在宅勤務手当」を新設するために一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について (議案第3号と同様)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について (議案第3号と同様)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について (令和5年4月に「こども家庭庁設置法」が施行し、こども家庭庁が創設され、関係法律や政省令等の整備が行われたことを受け、当該法令等の規定を引用する関係条例を改めるほか、所要の条文整備を実施するために5本の条例について一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町下水道条例の一部改正について (公営企業経営の基本原則である独立採算の原則を踏まえ、使用者に下水道事業の安定経営が可能な適正かつ妥当な価格により下水道使用料を負担いただくために一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	壬生町国民健康保険税条例の一部改正について (「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が令和5年5月19日に、関係政令が令和5年7月20日に公布され、国民健康保険税の改正部分については令和6年1月1日から施行されることに伴い、産前産後保険税免除措置の導入を行うために条例に一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県市町村総合事務組合規約の変更																	
議案第9号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について (鹿沼市が共同処理に加入することに伴い、栃木県市町村総合事務組合規約を変更するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件																	
議案第10号	壬生町教育委員会委員の任命について (本島博久氏を任命することに議会の同意を求めるもの)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算																	
議案第11号	令和5年度壬生町一般会計補正予算(第5号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和5年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和5年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和5年度壬生町水道事業会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和5年度壬生町下水道事業会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和5年度壬生町一般会計補正予算(第6号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

若

者のUターン促進と婚活支援

町長 国・県と連携して解決を図っていきます

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



後藤 節子 議員

婚活支援センターと連携しつつ、先進事例を参考に交流イベントなどの事業を検討していきます。

不登校で学びにアクセスできない子供たちをゼロに

② 現行、カウンセラーは設置していませんが、各学校で児童生徒や保護者に直接心のケアやサポートのアドバイスをしています。今後、カウンセラーと連携した授業も検討していきます。

生活者と事業者を守る物価高騰対策を

総合政策課長 ②物価高騰の影響を受けている全町民が対象になるような予算を、関係各課、財政部局で編成しており、早急に本会議に上程します。



二次元コードからご覧いただけます

問 ①奨学金返還支援制度を導入してはいかがか。

②ゆうがおバス運行時間帯を見直し、東武線特急定期券の補助事業で移住定住促進を。
③女性デジタル人材育成とテレワーク事業推進を。
④婚活支援として町の取組を伺う。

町長 ①国、県、企業、近隣市町の動向等を調査研究し、効果的な支援について検討します。

②他自治体・機関との関係で課題が多く即時対応はできませんが、引き続き利便性の向上を図っていきます。

総合政策課長 ③先進地事例を調査研究しながら、町に合った施策を検討していきます。
④とちぎ結

問 ①オンライン指導による相談体制で不登校の未然防止を。

②スクールカウンセラーによる「心のサポート授業」で怒りや緊張の対処法を。

教育次長 ①全小・中学校の端末機器で「心の天気」を入力する観察フォームを12月に試験運用、1月から本運用の予定です。

問 ①重点支援地方交付金の有効活用を。

②介護施設や障がい福祉サービス施設、学校施設の給食補助をしてはいかがか。

総務部長 ①国の補正予算の趣旨を踏まえて迅速に対応し、本定例会中に今後の事業展開を上程する予定です。



奨学金の返還を肩代わりして地方の未来を担う若者を応援する制度（奨学金返還支援制度）

Q&A

ここが聞きたい 一般質問

黒

川の里ふれあいプール跡地の今後は

副町長

跡地利用の方向性が見えてきた段階で情報提供をします



赤羽根 信行 議員

角度から検討していくことが重要であると考えています。

小規模事業者の活性化と本町の経済成長戦略

問 新たな補助制度の創設はいかがか。

町長 町の活性化に向け、実績及び出店者の意見、近隣市町の施策を参考に、空き店舗対策拡充のため補助要件等の見直しや、老朽化した空き店舗を解体し新店舗を建設開業した場合の補助など、全体的な地域のにぎわい創設ができるような施策の検討をしていきます。

問 清潔な壬生町のイメージアップにつながるトイレ改修工事の計画はあるのか。

建設部長 トイレの整備には、多額の事業費を必要とすることから、施設の老朽化の進行

状況及び財政状況など勘案し慎重に検討しています。引き続きトイレの状況を確認しながら、日常的な清掃・衛生管理を徹底し、美しく清潔なトイレ環境を整え、壬生町のイメージアップを図り、魅力ある公園にしていきます。

問 令和5年7月からの維持管理費、業務内容は。

副町長 契約金額と実際に支出した金額の合計は約2000万円です。

地元の方々が不安を抱くことがないよう施設警備や除草管理などの業務を委託し、施設の適切な管理に努めています。

問 跡地利用の検討は行われているのか。

副町長 令和5年度中の検討会議等の開催に向け、方向性や課題などを整理しています。当該地は洪水浸水想定区域に指定されており、過去に浸水したこともあるので、安全性を第一に考え、費用対効果を考慮しながら、本町に適した施設を模索し、地域にいい波及効果が得られるよう様々な

城址公園内駐車場トイレの整備は



黒川の里ふれあいプール



二次元コードからご覧いただけます

未

就学児の国保税均等割のゼロへの引き下げは

総務部長

国や県の動向等を注視し国民健康保険制度の安定した運営や維持に努めます

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



田部 明男 議員



二次元コードからご覧いただけます

上水道の安全確保を

で、政治判断として変更はしません。

車イスでも上れる町
営住宅に

室内の段差解消を進める計画はあるか。建て替えに備え、いまから検討を進めるべきでは。

町は上水道を、何種類の項目で、どのくらいの頻度で検査をしているか。その結果はいかがか。
全国の結果は、地下水より表流水の方が汚染が多い。改めて安全な地下水を使うべきと思うがいかがか。

て年間で91項目の水質検査を623回実施しています。法令で定めた水質基準を全て満たしており、安全で安心な水道水として住民の皆様にご利用いただいています。
水道課長 仮に表流水を使うとなった場合でも、水道法上の水質基準まで浄水しますので、安全性は確保されると認識しています。

建設部長

町内28カ所において

建設部長

築後50年を経過し

老朽化が進んでおり、車イス対応とするのは構造上困難な状況です。将来的な町営住宅のあり方について、借り上げ型町営住宅なども視野に入れながら調査研究していきます。

施策の優先順位を上げるべきでは。

町長 国保の皆保険制度を崩すことで信用が失われますの

問 ゼロにすると、町の負担はどのくらい増えるか。

答 新たに加わる金額は約195万円です。

問 国保は全額被保険者負担。税金や使用料は、平等ではなく公平であるべきでは。

国民健康保険税はどのように計算されますか(令和5年度)

国民健康保険税は所得割と均等割の2つに分かれています。

所得割は、所得に応じて計算されます。均等割は、町民一人ひとりに均等に賦課されます。

所得区分	所得割(円)	均等割(円)	合計(円)
所得10万円未満	1,000	1,000	2,000
所得10万円以上20万円未満	2,000	1,000	3,000
所得20万円以上30万円未満	3,000	1,000	4,000
所得30万円以上40万円未満	4,000	1,000	5,000
所得40万円以上50万円未満	5,000	1,000	6,000
所得50万円以上	6,000	1,000	7,000

※所得割は、所得に応じて計算されます。均等割は、町民一人ひとりに均等に賦課されます。

現行の国民健康保険税未就学児均等割の5割軽減を知らせる案内町公式ウェブサイトより

Q&A

ここが聞きたい

一般質問



図書館の子どもの読書コーナーを一階へ

生涯学習課長

大規模な改修が必要なため早急な移動は難しい状況です



小牧 敦子 議員

読みやすい本の提案②電子書籍・点字図書・Lレブック等の蔵書拡大③目の健康も考慮しながら今後検討します。④子どもの視点に立ち、優良図書や視聴覚資料の収集・充実に努めます。

働きやすい職場環境でミスを防ぐ

問 今般の不適切な事務処理の再発防止策はどのようか。

総務部長

町で実施するすべての事務に関し、DX関連システムを活用した業務手順書を活用することにより、異動時におけるミスが大幅に減少するとともに、各段階における組織内チェック機能の強化が図られ、再発防止につながるものと考えます。

問 現在、県内で人口一万人当たりの職員数が最も少ない壬生町。ミスを防ぐために、今後、職員数をどの程度増やしていくのか。

総務課長

マンパワーをさらに強化して、職員一人ひとりに

問 町の図書館から遠く通えない子どものための移動図書サービス。車の更新をどうされるのか。また、図書館内の子ども読書コーナーを二階から一階へ移し、利用しやすくすることはいかがか。

生涯学習課長

移動図書館「ゆうがおみぶ」は定期的にメンテナンスを行い、現在も問題なく運航しています。先については、地域性、利便性等を考慮しながら、サービス低下とならないような方策を協議

していきます。児童室を一階に移動する場合、場所の確保・配置転換等のため大規模な改修が必要となり、早急な移動、設置は難しい状況です。

問 第三期子どもの読書活動推進計画の基本方針はどのようなか。

①不読率の低減 ②読書バリアフリー ③デジタル化 ④子どもの視点に立った読書活動等への対応は。

教育次長

①話題となる本や

問

学校の司書教諭または学校司書の配置状況は。すべての学校でボランティアによる読み聞かせ活動は行われているのか。

学校教育課長

学校図書館法第5条より12学級以上の学校はもとより、12学級以下の藤井・羽生田小にも司書教諭が勤務しています。読み聞かせ活動もほぼ全ての小中学校で行っていますが、コロナの影響で1校が再開できていません。



移動図書館「BMゆうがお・みぶ」



二次元コードからご覧いただけます

高齢者医療・介護の課題への対応は

住民課長

能力に応じた負担と必要な保障がバランスよく提供されることを目指します

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



落合 誠記 議員

問 ①現役並み所得の判断基準の見直しや金融資産・所得反映、後期高齢者医療制度の在り方の検討等見解を伺う。
②生活機能が低下した高齢者の「予防給付」から「事業」への転換が図られていない自治体が大半との指摘があるが当町の現状はどのようなか。
③身体機能の回復と社会機能の回復を目的に「リエイ

ブルメント・サービス」が注目されているが当町の現状はいかがか。

住民福祉部長 ①医療費は増大の見込みであり、負担増の検討について、厚生労働省の社会保障審議会等の動向を注視し、関係機関と連携し、適切に対応します。
②他の自治体同様、従前相当の訪問型や通所介護型サービスを利用してしている状況です。

③現在、専門職による短期集中型の訪問・通所介護予防サービスを実施しています。
消費者施策を問う

問 ①本町消費者センターに寄せられた苦情等の詳細を伺う。
②一部消費者による悪質クレーム等迷惑行為への対応を伺う。

産業生活部長 ①令和4年度は261件の相談がありました。内容はネット通販、定期購入及び点検商法等の相談が多く、年代は70歳代以上の方からの相談が多くなりました。
②消費者庁作成の啓発チラシや、他市町の取組状況を収集し、町公式ウェブサイトでの情報発信・啓発方法について

研究します。
自転車を活用したまちづくりを問う

問 ①おもちゃのまち駅前輪場はレンタル業務が停止しているが今後の方針等はどのようなか。
②回遊性の確保等に自転車を活用すべきだが見解を伺う。

産業生活部長 ①早期の再開に向け、運営手法の検討も含めて、引き続き観光協会と協議を進めます。
②観光と日常の足としてのニーズ等に基づき推進していくことが肝要です。先進自治体の事例研究等を進めます。

今までのように日常生活を営むことに何かしらの支障が生じた高齢者が「元の生活を取り戻す (Re-ablement)」サービス

～サービス特徴～

- 期間限定のサービス
- リハビリテーション専門職を中心に集中的に介入する
- 身体機能の回復だけでなく、社会生活の回復も目標とする

⇒対象者に触れず、特殊な器具を使わず、動機づけ面談が中心
⇒自信と能力を取り戻し、セルフマネジメントを獲得する



全国から注目を集めるリエイブルメントサービス



二次元コードからご覧いただけます

閉会中の継続調査

定例会初日の本会議において、委員長が調査結果の報告をしました。

総務 常任委員会

税務課におけるDX化について

DXⅡデジタル技術を活用した社会変革
RPAⅡ日常業務のロボット化

▼RPAの活用状況は

主に入力作業など定型で繰り返しの単純作業について、軽自動車税に関して言えば取得や廃車のデータを入れることによって、ソフトウェア型ロボットがシステムに自動で入力してくれるようになっていきます、との事でした。

▼特別徴収税額通知書の電子化とは

地方税共同機構が立ち上げたシステムで、インターネット上で各個人にアドレスが振られます。税務課は、特別徴収義務者にアドレスと各個人のパスワードを送り、納税義務者は自分でインターネットにアクセスし、パスワードを入力してデータを確認するという形になります、との事でした。

▼調査を終えて

DXの目的は利便性の向上であり、住民を誰一人取り残さないという事で、どなたであっても行政サービスが平等に受けられることを目指して、DXの専門的な研修は当然今後必要ではありますが、思い違いなどヒューマンエラーの

無いように、二重三重のチェックについてもさらに強化をしてもらいたいと思いました。



委員長報告は、二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからもご覧いただけます。



フェイスブック



議会Facebook更新中



壬生町議会

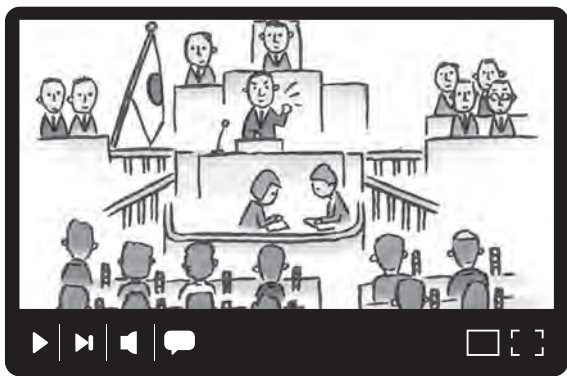
壬生町議会Facebookページ

町民の皆様には議会を身近な存在に感じていただけるように、議会情報や活動状況などを迅速に、分かりやすく発信していきます。ぜひ、ご覧いただき「いいね!」してください。



こちらの二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからご覧いただけます。

▶ 一般質問の模様をインターネットで録画配信しています。



壬生町議会では町民に開かれた議会を目指し、様々な取り組みを行っています。その一つとして、インターネットで一般質問の録画配信を行っています。

一般質問の模様を、パソコンやスマートフォン等で視聴することができますので、ぜひご覧ください。



こちらの二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからご覧いただけます。

委員会 研修 レポート

10月19日と20日の2日間 総務・教育民生・建設経済の3常任委員会が合同により、行政視察研修を実施しました。

今年度の研修テーマは、福島県会津若松市では「スマートシティについて」、栃木県大田原市では「子ども未来館（トコトコ大田原）について」、宇都宮市の「とちぎ結婚支援センターについて」とし、研修ではICTを活用したまちづくりや具体的な取り組み、子育て支援等の先進的な施策や運営方法を学びました。

総務常任委員会

スマートシティについて

福島県会津若松市

委員長 赤羽根信行

総務常任委員会では10月19日、福島県会津若松市「スマートシティA i C T交流棟」において「スマートシティ会津若松」の取り組みの全体像、観光領域の取り組みなどについて視察研修を行いました。

会津若松市が提唱する「複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ推進事業」とは、I C Tや環境技術などを活用して健康や福祉、教育、防災、エネルギー、交通、環境などの分野で、持続力と回復力のある力強い地域社会と安心で快適に暮らすことの出来るできるまちづくりを進めていくものです。

このプロジェクトでは、公共サービスのデータ連携基盤である「都市O S」を最大限に活用することで、複数のサービスをシステムに連携させて、新たな付加価値

を創出することを目指していますとの説明がありました。

委員会としても人口減少に伴い住民が均等に平等にサービスを受けられることができるシステムを促進し、安心して快適に暮らせるまちづくりを目指していきたいと思う研修内容でした。



教育民生常任委員会

「トコトコ大田原」における子育て支援

栃木県大田原市

委員長 後藤 節子

先進的な子育て支援を行っている大田原市の子ども未来館を視察して参りました。大田原市では「中心市街地活性化基本計画」を策定し、いち早く国の認定を受け、とこと歩いていくことができる魅力的な場所として「トコトコ大田原」を建設しました。1階をショッピングフロア、2～3階を子ども未来館と市民交流センター、4階を図書館、5～7階を分譲マンションと、非常に賑わいのある施設でした。子ども未来館内には、遊具施設や乳幼児の一時保育センターが設置され、産みや子育てしやすい環境づくりで母子福祉の健全育成が図られていました。近隣市町の方も利用されており、壬生町にも取り入れたいと思うような画期的な施設でした。

「とちぎ結婚支援センター」における婚活支援

栃木県宇都宮市

とちぎ結婚支援センターは、県が

開設した結婚支援相談窓口で、県知事から任命を受けた結婚コンシェルジュが配置されています。3人の方と同時期にプレ交際ができる新しい取り組みや法人会員のイベントでマッチング率を高める等、様々な婚活サポートが行われています。入会登録料は2年間一万円ですが、令和6年3月末まで無料・半額キャンペーンを行っており、壬生町も連携し、入会啓発や婚活支援に活かして頂きたいと思われました。



TOWN VOICE

町民の方の声を
紹介します

わ んぱく公園という大きな公園があり子ども達を遊ばせるのに素晴らしい施設があります。子育てするには、環境が整っている町だと思います。

壬生町の
ここが好き



こんな町に
なってほしい

こばやし しんさく
小林 信作 さん
(壬生町商工会青年部部长)

わ んぱく公園に、アクティビティ施設が欲しい。公園内を自転車で周遊できるようにしてほしい。

議員研修会に参加

11月20日、県町村議会議長会主催による議員研修会が宇都宮市で開催され、県内の町議会議員が参加しました。研修会では、政治アナリストの伊藤厚夫氏の「これからの政治・経済の行方について」と題する講演により、今後の地方議会のあり方について学びました。



茨城県行方市議会総務委員会が来庁

11月2日に茨城県行方市議会総務委員会の皆様が行政視察に来庁し、「防災道の駅について」をテーマに活発な意見交換と現地の見学が行われました。



佐賀県基山町議会総務文教常任委員会が来庁

11月8日に佐賀県基山町議会総務文教常任委員会の皆様が行政視察に来庁し、「歴史・文化教育への取り組みについて」をテーマに活発な意見交換が行われました。



議会広報特別委員会



榎井委員 小川副委員長 大山委員 戸崎委員長 中川委員

編集後記

観測史上最も暑い夏であった令和5年も、冬を迎えて本来の寒さがやって来ましたが、私には最近心暖かくなることがありました。

どこの自治会においても、消防団員の選出にはご苦労されていることと思います。私の地元自治会でも、2名の団員を選出するにあたり自治会長・関係者は大変苦慮しました。対象者全員に働きかけ、ようやくA君が引き受けてくれたそうです。するとその話を聞きつけて「A君がやるならば僕もやります」とA君と小学生のとき同じスポーツクラブの仲間だったB君が引き受けてくれたそう、無事に新団員を選出することができました。

「小・中学校時代の仲間はいいな」と思うのと同じように、若い世代の間で横のつながりが生きていることを感じられるうれしい出来事でした。

大山 博